



# 日本形成外科手術手技学会 *News Letter*

第20号 2025年5月1日発行  
発行 日本形成外科手術手技学会 事務局  
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12  
新宿ラムダックスビル 榊春恒社内  
MAIL : jsitps@shunkosha.com

## — 目次 —

- \* 学術集会予定
- \* 第30回 日本形成外科手術手技学会 報告
- \* 第31回 日本形成外科手術手技学会 お知らせ

## 学術集会予定

### 第31回日本形成外科手術手技学会

会 長：元村 尚嗣 （大阪公立大学大学院医学研究科形成外科学 教授）  
会 期：2026年3月7日(土)  
会 場：なんばスカイオコンベンションホール（大阪府大阪市）  
テーマ：情熱と愛をもって形成外科手術を究めるー

### 第32回日本形成外科手術手技学会

会 長：加藤 久和 （岐阜大学医学部附属病院形成外科 病院教授）  
会 期：2027年3月6日(土)  
会 場：長良川国際会議場（岐阜県岐阜市）

### 第33回日本形成外科手術手技学会

会 長：佐武 利彦 （富山大学附属病院形成再建外科・美容外科 教授）  
会 期：2028年

## 第 30 回 日本形成外科手術手技学会 報告

会長 鳥山 和宏 (名古屋市立大学医学部形成外科 教授)

青葉薫る折、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、皆様のご参加・ご協力をいただき、2025年3月1日(土曜日)に第30回日本形成外科手術手技学会をウインクあいち(名古屋)にて開催させていただきました。事前有料参加人数は340名で、今回無料とさせていただいた初期研修医は9名、医学部学生は5名でした。多くの会員の皆様の現地参加をいただき、盛会裏に学会を開催することができました。参加者の皆さんには心より深く感謝申し上げます。

学会のテーマは、術者が最適に手術を行える環境を整えるという意味を込めて、「**場を作ろう！～難しい場をやさしくする～**」とさせていただきました。今回、初めて「1分間動画」という新しいシンポジウムの場を提案させていただきました。幸いにも、23題の応募を頂くとともに、白熱した速度で演題発表が繰り広げられ、満員の会場が拍手に包まれました。ありがとうございました。

特別講演として、形成外科学会パイオニアのお一人で御年90歳を超えておられる富士森良輔先生に、熱傷後のケロイドや瘢痕拘縮の克服、特に「唇の再建」についての貴重なご経験をお話いただきました。会場が超満員となる中で、深く感銘に包まれました。また、当病院で睡眠センターを設立された中山明峰先生には「一般医に知って頂きたい不眠治療 -不眠と認知症の関係について-」というテーマで、ご講演いただきました。睡眠が不規則になりがちな形成外科医に、上手な睡眠のとり方と、睡眠薬の基礎知識をご教示いただきました。

学会のポスターは、形成外科手術を象徴する「手術道具」を基本デザインとして、医局員の手をモデルに作成しました。形成外科医が愛用する「手術道具」に関するシンポジウムを始めとして、多くのビデオ演題を中心にプログラムを組みました。

第30回という節目の学会で、過去30年間の抄録集の表紙パネルを展示し、本学会の歴史を振り返ることができました。本学会が内視鏡研究会から始まり、ロボット手術を見据えたビデオを主要テーマにする学会へと進化したことを再認識しました。

本学会が皆様の日々の手術手技の向上にお役に立てれば幸いに存じます。「1分間動画」をきっかけとして若い形成外科医に参加していただけたことをとても感謝しております。今後とも皆様のご指導ご協力を頂けますように宜しくお願い申し上げます。

## 第 31 回 日本形成外科手術手技学会 お知らせ

会長 元村 尚嗣（大阪公立大学大学院医学研究科形成外科学 教授）

この度、第 31 回日本形成外科手術手技学会の会長を拝命しました大阪公立大学大学院医学研究科形成外科学の元村尚嗣です。本学術集会を開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本学会を主宰させていただくことは大変光栄であるとともに、その責任の重大さを改めて痛感しております。学会テーマは「情熱と愛をもって形成外科手術を究める」とさせていただきました。このテーマのもと、全国の形成外科医の皆様、そしてその分野に関心をお持ちの全ての皆様方を、2026 年 3 月 7 日土曜日になんばスカイオコンベンションホールでお迎えしたいと存じます。形成外科の分野は、技術革新と医学の進歩により、多様な治療方法が日々進化しています。しかしながら、我々の最も大切な使命は、患者様に対する「情熱と愛」をもって最高の治療を提供することにあります。それゆえ、本学術集会では知識の共有と技術の研鑽を通じて、患者様へのキュアおよびケアの質を高めるための新たなアプローチについても深く議論したいと考えています。

「情熱と愛」を持つ若手からベテランの形成外科医、全ての参加者が共に学び、交流する貴重な機会となることを願っています。知識の交換と技術の磨き合いは、私たちの形成外科分野をさらに高みへと導くでしょう。内容については、本学会の特徴である動画によるビデオ演題を中心に、第 30 回の本学会で好評であった 1 分動画に加え、新たに 3 分動画などのセッションも企画したいと思います。形成外科の扱う領域においては他科と重なることやコラボレーションすることもあり、関連領域との共同ビデオセッションなども行う予定にしております。特別公演では、私の師匠でもあり形成外科のレジェンドである富士森良輔先生に第 30 回に引き続きご講演賜る予定です。今回は【眼】の形成外科手術における矜持についてお話しいただく予定です。それ以外も、まだまだ魅力ある企画を思案中です。前回は第 30 回という本学会の総まとめという位置付けであったと思いますが、今回は第 31 回という新たな一歩を踏み出す学会にしたいと思います。

学会開催地である大阪ミナミは、俗にいう濃い大阪で、皆様が思い描く the Osaka だと思います。学会が終わった後は deep OSAKA を心ゆくまで堪能していただければ幸いです。医局員のみならずグリコの看板や道頓堀太郎などが皆様をお待ちしております。是非、日程を調整の上、本学会でひとりでも多くの皆様とお目にかかれるのを楽しみにしております。

“めちやくちゃおもしろいで!! ……知らんけど (笑)”